



耀盃顕現

質は楽焼である。形は十全具備の茶盃で作は光悦と宗全に優るとも劣らない。絵は南欧の陽光の下に生まれた後期印象派の点描を偲ばせ、ルリ・緑青・黄土・エンジなどみな日本離れた牙えにかがやく。殊に刷き上げるエンジの色は妙へに美しい。もし、こんな茶盃を見たと言ったら、人は信ずるだろうか。
(昭和二十四年二月吉日 岡山備前にて)

王仁 ONISABURO 三郎 の世界

2017年
3.25 (土) - 4.2 (日)

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART
林原美術館 (岡山市)

- 入場料 400円 (高校生以下無料)
- 開館 10:00 ~ 17:00 (初日 11:00 ~ / 入場 16:30 まで)
- 休館日 3月27日 (月)
- 〒700-0823 岡山市北区丸の内 2-7-15 TEL 086-223-1733
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>
- 主催: 「出口王仁三郎とその一門の作品展」 実行委員会
- 共催: 一般財団法人 林原美術館
- 後援: 岡山県・岡山県教育委員会・山陽新聞社・RSK山陽放送

出口王仁三郎とその一門の作品展
Art Exhibition Of Onisaburo Deguchi and His Family

「色彩とリッチさ、茶盃の姿、芸と品格。天才」

(金重陶陽宅で王仁三郎の楽茶盃を初見した陶芸評論家・加藤義一郎のメモから)

出口王仁三郎とその一門の作品展

王仁三郎の世界

— 耀盃顕現 —

3月25日(土) ~ 4月2日(日)

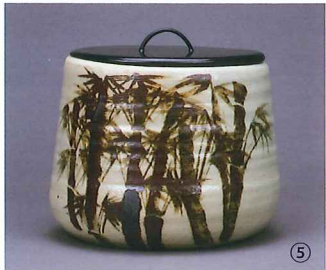
林原美術館(岡山市) 入場料400円
(高校生以下無料)

林原美術館/岡山県岡山市北区丸の内2-7-15 TEL086(2)23-1733
開館/10時~17時(初日は11時開場/各日とも入場は16時30分まで)
休館/3月27日(月)

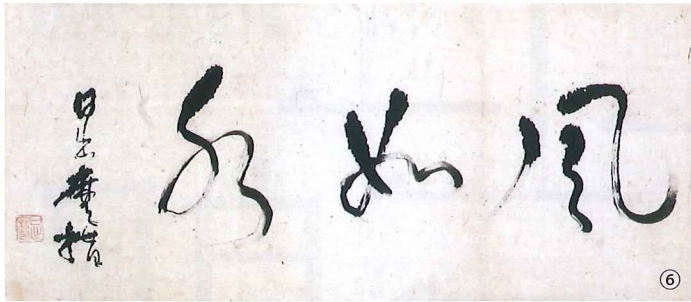
主催/「出口王仁三郎とその一門の作品展」実行委員会
共催/一般財団法人林原美術館
後援/岡山県・岡山県教育委員会・山陽新聞社・RSK山陽放送

近代日本の宗教・思想史に深くその名を刻まれる出口王仁三郎(1871~1948)は、書画や陶芸などの芸術にもその才能を発揮し、多くの作品を残しました。昭和47年から欧米6カ国で開催された「出口王仁三郎とその一門の作品展」には25万人が入場し、各地で絶賛されました。近年、日本各地で開催されている同展が、いよいよ岡山で開催されます。王仁三郎一門の芸術が世に知られるきっかけとなった有縁の岡山で、王仁三郎一門の美の世界をご堪能ください。

「出口王仁三郎とその一門の作品展」実行委員会



①「光」出口王仁三郎
②耀盃「天国廿八」出口王仁三郎
③耀盃「御遊」出口王仁三郎
④「よがかわりてんかむるいのへたなじおかく」出口すみ子
⑤水指「筵」出口直日
⑥「風如水」出口日出磨
⑦「折り」出口聖子
※出品作は都合により変更になることがあります。



「耀盃顕現—王仁楽焼—」

昭和24年、備前焼の金重陶陽(人間国宝)宅で、王仁三郎作の楽茶盃「天国廿八」「御遊」を初見した陶芸評論家・加藤義一郎は、「芸と品格。天才」とメモを残し、「明日に耀く茶盃、「耀盃—ようわん」と命名。「耀盃顕現」と題して、陶芸専門誌に発表した。その楽茶盃こそが、王仁三郎が最晩年の1年間に制作した耀盃(約3000点)であった。

「魯山人が驚嘆した『すみこの書』」

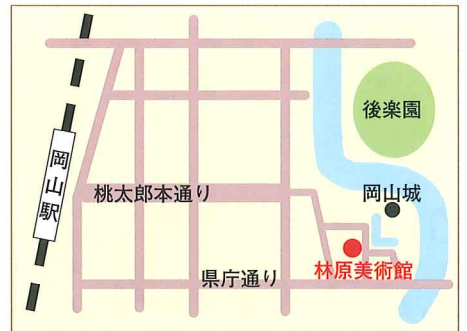
昭和25年、備前焼の金重陶陽宅で床に掛けられた一幅の軸「よがかわりてんかむるいのへたなじおかく」(すみこ筆)を見た奇才・北大路魯山人は驚嘆し、しばらくの間、じっと見つめた。「まさに天衣無縫! ああいう天才は現代にはもちろん一人もなく、三千年の歴史にもちょっと見当たらない」。

「倉敷出身の日出磨・生誕120年」

『生きがいシリーズ』などの著者として知られる出口日出磨(王仁三郎の娘婿)は、岡山県倉敷市出身で、平成29年は生誕120年を迎える。書家・綾村垣園は、日出磨の書を、「神韻縹渺たる、まさに神仙の境地。生ぐさい人間どものおよびもつかない、世の常人ではとても至りえない世界」と、その高い芸術性を絶賛した。

「識者が魅せられた直日の人と才」

石黒宗磨(陶芸家・人間国宝)や白州正子(随筆家)、松本清張(小説家)など、多くの識者が絶賛し、魅せられた直日の芸術と人間性。松本清張は次のように綴った。「素朴で、自然な情感が、高い調べで力強く表現されている。長い間忘れていた故郷をここに見つけて、そのやすらぎに陶酔する思いである」。



＝林原美術館へのアクセス＝

- JR岡山駅から徒歩25分
- 市内電車/東山行 県庁通り下車(4つ目) 徒歩7分
- 岡電バス/9番のりば岡電高層行 県庁前下車(6つ目) 徒歩3分
- 岡山ICから車で20分(約8Km)

※林原美術館は駐車台数が限られていますので、付近の駐車場(有料)をご利用ください。